



Vol. 12 / Serial  
No. 278

2022. 3. 15.  
(8pgs)

Copyright © 2022 by Bosai Plus. All rights reserved.

### ■ CONTENTS ■

- P. 1 【東日本大震災から11年】  
東北復興へ“新しい力”  
「人の心に火を灯す」  
双葉町「壁画アート」の力
- P. 2 【復興道路・復興支援道路】  
東北の未来を拓く  
観光・物流・医療・産業…
- P. 3 【平井雅也氏寄稿】  
日本人の自然観と災害  
「なぜ備えが必要か」
- P. 5 【話題を追って】  
・IPCC 適応策  
一部影響 不可逆的に  
★Bosai+Topics  
避難につながる  
防災気象情報再構築へ
- P. 6 【BOSAI TIDBITS】  
・地質学会の異質コンテンツ  
「地質マンガ」  
・食用コオロギを災害備蓄に
- P. 7 ClipBoard ～着信あり!  
災害・防災情報リンク集

〈特設WEBコーナーへのリンク〉

★ 2022年3月/4月の

防災2カ月イベントと災害カレンダー  
(この日起った災害 付き)

各ページの青文字はリンクです

リニューアル! ソフトオープン



[bosai-plus.info](http://bosai-plus.info)

Bosai Plus ホームページでも、いろいろ  
ご活用いただける話題を提供しています。

【東日本大震災から11年】 東北復興へ“新しい力”

## 未来を拓く心の灯と復興道路 再起を促す草の根の“情動”

三陸沿岸道路の開通で復興の軸足は産業再生へ転換、「道の駅」には草の根の心の灯が連なっている。



上写真:壁画アート会社OVER ALLsによる「FUTABA Art Districtプロジェクト」より。「僕たちOVER ALLsが福島県・双葉町に絵を描く理由。それは復興を支援したいとか、被災地の方に頼まれたからではありません。壁画アートの力を証明したくてやっているものです。原発事故により双葉町はいろいろなものがゼロになりました。そんな土地では従来型の町おこしは通用しない。まずは心の火を灯すことからしなさいといけな。アートが一番力を発揮する場面の一つは、人の心に火を灯すこと。アートの力を証明するならここだ! そんな思いが始まりです」(画像クリックで画像拡大)

### 【まずは「人の心に火を灯す」ことから始めよう!】

#### ●大震災「第2期復興・創生期間」の民の軸足は——未来を拓く“新しい力”

全国で関連死を含む死者・行方不明者2万2207人を出した東日本大震災から、3月11日で11年となった。国は今年度からの5年間を「第2期復興・創生期間」とし、復興庁の予算は、風評被害対策を含めた原子力災害からの復興・再生に軸足を移し、約8割は原発事故被災地の支援や被災者の心のケアにあてられる。その対策の推移への評価はいろいろだが、震災前・災中・災後(暫定10年間)の連続性＝タイムラインから芽生えた草の根の“新しい力”も見出し得る。東京電力福島第一原発事故で全町避難が続く福島県双葉町で行われた壁画アート会社OVER ALLsによる「FUTABA Art Districtプロジェクト」。「壁画で先行して人が戻ってきた双葉町の未来を表現しよう」という“情動の発露”ともいべき試みに、力を感じた。

[>>OVER ALLs:住民ゼロとなった福島県双葉町に壁画アートを制作](#)